

令和 7 年度 ODA 評価

「平成 28 年度対カンボジア無償資金協力
（事業・運営権対応型）
『コンポントム上水道拡張計画』」及び
「令和 2 年度対カンボジア無償資金協力
『経済社会開発計画』」の評価
（第三者評価）

別冊

令和 8(2026)年 1 月

評価主任：近畿大学国際学部教授 桑名恵

株式会社 アンジェロセック

目次

第 1 章 評価調査の実施方法	1
1. 国内調査の実施方法	1
2. 現地調査の実施方法	1
(1) 調査スケジュール	1
(2) 調査対応者	2
3. 評価の枠組み	2
第 2 章 評価結果に至る各種調査内容の詳細	19
1. 「平成 28 年度コンポントム上水道拡張計画」に係る調査結果の詳細	19
(1) セン川の自然条件と「川と共生する」浄水場づくり	19
(2) 新旧浄水場と配水管を一体で考えた「まち全体の水のデザイン」	20
(3) 「事業・運営権対応型無償」を現場でいかすための仕組みと人づくり	21
2. 「令和 2 年度経済社会開発計画」に係る調査結果の詳細	23
(1) 政府間協議会(コミッティー)での合意内容	23
(2) 初期操作トレーニングの実施結果	24
(3) 機材の配置先及び現在の使用・維持管理状況	25
第 3 章 参考文献	27
1. 案件共通の参考文献	27
2. 「平成 28 年度コンポントム上水道拡張計画」に係る参考文献	27
(1) 外務省提供資料	27
3. 「令和 2 年度経済社会開発計画」に係る参考文献	28
(1) 外務省提供資料	28
(2) 国内調査及び現地調査入手資料	28
(3) 公開情報	29

略語表

略語	日本語	英語
A/A	調達代理業務契約	Agent Agreement
ADB	アジア開発銀行	Asian Development Bank
ASEAN	東南アジア諸国連合	Association of Southeast Asian Nations
COVID	コロナウィルス感染症	Coronavirus Disease
CSDGs	カンボジア 持続可能な開発目標	Cambodian Sustainable Development Goals
DBO	設計・建設・運営	Design, Build and Operation
E/N	交換公文	Exchange of Notes
F/S	フィージビリティ調査または実行可能性調査	Feasibility Study
ICU	集中治療室	Intensive Care Unit
IMF	国際通貨基金	International Monetary Fund
JBAC	カンボジア日本人商工会	Japanese Business Association of Cambodia
JETRO	独立行政法人日本貿易振興機構	Japan External Trade Organization
JICA	独立行政法人国際協力機構	Japan International Cooperation Agency
JICS	国際協力システム	Japan International Cooperation System
JV	合弁事業	Joint Venture
KSSWU	ストウンセン水道公社	Krong Stueng Saen Water Utility
KTWW	コンポントム水道局	Kampong Thom Water Works
MEF	経済財政省	Ministry of Economy and Finance
MFAIC	外務・国際協力省	Ministry of Foreign Affairs and International Cooperation
MHD	市保健局	Municipal Health Department
MIH	工業・手工芸省	Ministry of Industry and Handicraft
MISTI	工業科学技術革新省	Ministry of Industry, Science, Technology and Innovation

MOH	保健省	Ministry of Health
MOP	計画省	Ministry of Planning
MPAC	ASEAN 連結性マスタープラン	Master Plan on ASEAN Connectivity
MRD	農村(地方)開発省	Ministry of Rural Development
NGO	非政府組織	Non-Governmental Organization
NMCHC	国立母子保健センター	National Maternal and Child Health Center
NSDP	国家戦略開発計画	National Strategic Development Plan
O&M	運営・維持管理	Operation and Maintenance
ODA	政府開発援助	Official Development Assistance
PDCA	計画・実行・評価・改善	Plan Do Check Act
PHD	州保健局	Provincial Health Department
SDGs	持続可能な開発目標	Sustainable Development Goals
SPC	特別目的会社	Special Purpose Company
UHC	ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ(全ての人のための保健制度)	Universal Health Coverage
UNICEF	ユニセフ	United Nations Children's Fund
UPS	無停電電源装置	Uninterruptible Power Supply
WHO	世界保健機関	World Health Organization

第1章 評価調査の実施方法

1. 国内調査の実施方法

国内調査において、インタビュー及び質問票調査を以下のとおり実施した。

表 1-1 国内調査の実施スケジュール及び対応者

実施日／回答日	組織名	部署・課など	調査方法
7月1日	オガワ精機株式会社	営業部	質問票
7月7日	豊田通商株式会社	モビリティ企画部	インタビュー
7月7日	外務省	南部アジア部南東アジア第一課	質問票
	株式会社シリウス	営業管理部	質問票
	双葉インターナショナル株式会社	営業第二部	質問票
7月8日	独立行政法人国際協力機構(JICA) 本部	東南アジア・大洋州部 東南アジア第二課、地球環境部、人間開発部	質問票
7月14日	一般財団法人 日本国際協カシステム (JICS)	業務第一部 地域第二課	インタビュー
7月15日		業務第三部 地域第一課	インタビュー
7月17日	株式会社クボタ建設、株式会社建設技研インターナショナル	海外部、上下水道部	インタビュー
7月18日	株式会社日本総合研究所	リサーチ・コンサルティング部門	インタビュー
7月18日	外務省	国際協力局 国別開発協力第一課	インタビュー
7月22日	日世貿易株式会社	代表取締役	質問票

2. 現地調査の実施方法

(1) 調査スケジュール

評価主任及び評価チームは、以下のスケジュールに沿って現地調査を実施した。

表 1-2 現地調査の実施スケジュール

月日	曜日	評価主任 桑名 恵	コンサルタント		
			総括 熊野 忠則	副総括 大澤 なず奈	コンサルタント 日野 愛子
8月3日	日	PNH着			
8月4日	月	10:00-10:30 在カンボジア日本国大使館 表敬訪問 10:30-12:00 在カンボジア日本国大使館 インタビュー・打合せ			
8月5日	火	10:30-11:30 保健省(MOH) インタビュー			
		14:30-15:00 アジア開発銀行(ADB) インタビュー 15:45-17:00 特別目的会社(SPC)(クボタ建設ブノンベン事務所) インタビュー			
8月6日	水	9:00-10:00 ブノンベン市保健局(MHD) インタビュー			
		13:30-14:30 国立母子保健センター(NMCHC) インタビュー・視察			
		15:30-17:00 クメール・ソビエト友好病院 インタビュー・視察			
8月7日	木	10:45-11:55 工業科学技術革新省(MISTI) インタビュー 12:00-15:00 ブノンベン→コンボンチャム移動			
8月8日	金	9:00-11:50 コンボンチャム州保健局(PHD) インタビュー, コンボンチャム州リファラル病院 視察			
8月9日	土	11:00-17:00 コンボンチャム→シエムリアップ移動			
8月10日	日	資料整理等			
8月11日	月	11:00-12:00 シエムリアップ州リファラル病院 視察			
		14:00-15:20 シエムリアップ州保健局(PHD) インタビュー			
8月12日	火	8:00-10:30 シエムリアップ→コンポントム移動			
		13:00-15:00 ストゥンセン水道公社(KSSWU) インタビュー			
		15:00-17:00 新浄水場 視察			
8月13日	水	8:30-11:00 受益者(住民, 保健センター, 小規模事業主など) インタビュー @スレイオブ			
		14:00-16:00 受益者(住民, 小規模事業主など) インタビュー @トロペアンルセイ			
8月14日	木	9:30-10:30 受益者(住民, 学校など) インタビュー @クテイドーン			
		14:30-15:45 コンポントム州保健局(PHD) インタビュー, コンポントム州リファラル病院 視察			
8月15日	金	9:00-12:00 コンポントム→ブノンベン移動			
		14:00-14:30 在カンボジア日本国大使館帰国前報告			
8月16日	土	PNH発			
出張日数		12泊14日	13泊14日		

(2) 調査対応者

現地調査におけるインタビュー及び質問票調査の対応者は以下のとおりである。なお、下表には、現地渡航中に対面で実施したインタビューに加え、渡航期間外に実施した質問票調査の対応者も含まれている。

表 1-3 現地調査の対応者

実施日/回答日	組織名	部署・課など	調査方法
7月15日	トヨタカンボジア	経営企画部	質問票
7月17日	JETROプノンペン事務所	所長	質問票
7月22日	駐カンボジア欧州連合代表部		質問票
7月23日	カンボジア日本人商工会(JBAC)	会頭	質問票
7月28日	JICAカンボジア事務所		質問票
8月4日	在カンボジア日本国大使館	一等書記官、二等書記官	インタビュー
8月5日	保健省(MOH)	感染症対策局	インタビュー
8月5日	アジア開発銀行(ADB) 駐カンボジア代表事務所	プロジェクトオフィサー、シニア・プログラムオフィサー	インタビュー
8月5日	特別目的会社(SPC) (クボタ建設プノンペン事務所)	プノンペン事務所所長 兼 特別目的会社(SPC)取締役	インタビュー
8月6日	プノンペン市保健局(MHD)	所長、副所長、管理部門	インタビュー
8月6日	国立母子保健センター(NMCHC)	院長	インタビュー
8月6日	クメール・ソビエト友好病院	管理部門、技術部門、臨床工学部門、会計部門、看護教育部門	インタビュー
8月7日	工業科学技術革新省(MISTI)	飲料水局	インタビュー
8月8日	コンボンチャム州保健局(PHD)	所長、副所長、規制部門、管理部門、救急対応チーム	インタビュー
8月8日	コンボンチャム州病院	院長	視察
8月11日	シェムリアップ州病院	会計部門、臨床工学部門	視察
8月11日	シェムリアップPHD	副所長、保護部門、会計部門	インタビュー
8月12日	ストウンセン水道公社(KSSWU)	総裁、副総裁、事業事務局、総務局	インタビュー
8月12日	新浄水場	SPC取締役	視察
8月13日	スレイオブ保健センター	所長	インタビュー
8月13日	水道利用者	主婦、ガソリンスタンド経営者、小売店事業主、飲食店経営者、洗濯業者	インタビュー
8月14日	クデイドーン小学校	校長	インタビュー
8月14日	コンポントムPHD	所長、他スタッフ	インタビュー
8月14日	コンポントム州病院	院長	視察
9月4日	地方開発省(MRD)		質問票
9月4日	経済・財務省(MEF)	二国間協力室	質問票
9月5日	在カンボジア日本国大使館	一等書記官	インタビュー
9月12日	在カンボジア日本国大使館	二等書記官	インタビュー
11月28日	保健省(MOH)		質問票

3. 評価の枠組み

(1) 「平成 28 年度コンポントム上水道拡張計画」の評価の枠組み

表 1-4 「平成 28 年度コンポントム上水道拡張計画」の評価の枠組み

評価設問	検証項目	主な検証内容	情報源・情報収集方法
1. 計画の妥当性			
1-1-1 関連性の 目的の	1-1-1 カンボジアの開発ニーズ及び開発政策との関連性	<ul style="list-style-type: none"> 当該案件の目的(事業・運営権対応型無償資金協力の目的を含む)や期待された援助効果と、カンボジアの開発ニーズ(分野、裨益地域、対象者など)、開発政策及び給水分野の開発計画との関連性 	【文献調査】 <カンボジア政府の開発政策> <ul style="list-style-type: none"> 「カンボジア・ビジョン 2030」、「第三次四辺形戦略(2013年-2018年)」、「国家戦略開発計画(NSDP)2014-2018」、「地方給水と公衆衛生のための国家戦略計画 2011-2025」、「地方

評価設問	検証項目	主な検証内容	情報源・情報収集方法
			<p>給水と公衆衛生のための国家行動計画 2019-2023」、「ユニバーサルヘルスカバレッジに向けたロードマップ 2024-2035」など</p> <p><他の開発関連文書></p> <ul style="list-style-type: none"> 国際的な合意文(SDGs(特に目標 6)など)、国際機関・他ドナーの報告書・統計、有識者の文献 など <p><事業関連></p> <ul style="list-style-type: none"> 要請書などの資料、大使館コメント票、財務実行協議資料、交換公文(E/N)本文、交換公文(E/N)合意議事録及び添付資料、事業完了報告書、類似案件報告書 など <p>【国内調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外務本省(国際協力局国別開発協力第一課(以下、「国別一課」という。)) JICA 本部(東南アジア大洋州部東南アジア第二課(以下、「東南アジア第二課」という。)) 調達代理機関 契約業者(コンサルタント)*1 など <p>*1:当該事業においては、株式会社日本総合研究所(代表)とオリジナル設計株式会社(構成員)のJV。</p> <p>【現地調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> カンボジア政府関係省庁・機関(外務国際協力省(MFAIC)、工業科学技術革新省(MISTI)*2、計画省(MOP)、地方開発省(MRD)、コンポントム水道局(KTWW)など) *2:当該案件の実施機関であった工業・手工芸省(MIH)は、2020年に組織改編が行われ、MISTIに名称が変更された。 在カンボジア日本国大使館、JICAカンボジア事務所 国際機関・他ドナー現地事務所 など
	1-1-2 日本政府の外交政策及び開発協力政策との関連性	<ul style="list-style-type: none"> 当該案件の目的や期待された援助効果と日本の外交政策及び対カンボジア開発協力政策の、内容及びタイミングにおける関連性 日本の政策の遂行のための迅速性や援助表明の必要性 「事業・運営権対応型無償資金協力」として採択されたことの妥当性 	<p>【文献調査】</p> <p><外交政策></p> <ul style="list-style-type: none"> 外交青書、開発協力白書 など <p><開発政策></p> <ul style="list-style-type: none"> 開発協力大綱(2015年、2023年)、対カンボジア王国国別開発協力方針(以下、カンボジア国別開発協力方針と言う)、事業展開計画、政策評価書、行政事業レビューシート、ODA国別データブック など <p><他の開発関連文書></p>

評価設問	検証項目	主な検証内容	情報源・情報収集方法
		<ul style="list-style-type: none"> 日本の技術のプロモーションや日系企業の海外展開などの政策との関連性 国際的な政治経済情勢(国際的な会議・情勢、要人の往来、政権交代など)のタイミングとの関連性 援助表明や E/N 締結時における、国内及び現地での当該案件に関する広報・報道の有無(広報効果による日本のプレゼンス向上への貢献) 	<ul style="list-style-type: none"> 国際的な合意文(SDGs(特に目標 6)など)、国際機関・他ドナーの報告書、有識者の文献 など <p>＜事業関連＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 要請書などの資料、財務実行協議資料、交換公文(E/N)本文、交換公文(E/N)合意議事録及び添付書類、日本政府やカンボジア政府によるプレスリリース、現地の新聞やウェブ上の記事 など <p>【国内調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外務本省(国別一課、アジア大洋州局南部アジア部南東アジア第一課(以下、「南東アジア第一課」と言う)) JICA 本部(資金協力業務部など) 調達代理機関 契約業者(コンサルタント) など <p>【現地調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> カンボジア政府関係省庁(MFAIC、MISTI など) 在カンボジア日本国大使館、JICA カンボジア事務所 JETRO プノンペン事務所、在カンボジア日本商工会議所(JBAC) など
<p>1 2 計画された事業内容の整合性</p>	<p>1-2-1 カンボジアの給水分野のニーズ及び同分野におけるカンボジア政府の開発計画や活動との整合性</p>	<ul style="list-style-type: none"> 計画された事業内容(金額、分野、施設、使用計画、実施機関、開発面及び外交面での援助効果など)と、カンボジアの給水分野のニーズ及び同分野におけるカンボジア政府の開発計画や活動との整合性 受益者(サービスを利用する周辺住民など)の需要に対して計画された供給内容の妥当性(十分な水量の安定的な供給可能性の考慮など) 	<p>【文献調査】</p> <p>＜カンボジアの給水分野に関する開発政策＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 「地方給水と公衆衛生のための国家戦略計画(2014-2025)」、「地方給水と公衆衛生のための国家行動計画」、「カンボジアの農村部における給水のための公的資金調達計画」(UNICEF)、「給水・衛生セクターのアセスメント、戦略及びロードマップ」(ADB)、有識者の文献 など <p>＜事業関連＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 要請書などの資料、交換公文(E/N)本文、交換公文(E/N)合意議事録及び添付資料、包括合意文書、事業完了報告書、類似案件報告書 など <p>【国内調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外務本省(国別一課) JICA 本部(東南アジア第二課) 契約業者(コンサルタント) など <p>【現地調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> カンボジア政府関係省庁・機関(MFAIC、MISTI、MRD、KTWW など) 在カンボジア日本国大使館、JICA カンボジア事務所 国際機関・他ドナー現地事務所 など

評価設問	検証項目	主な検証内容	情報源・情報収集方法
	1-2-2 日本政府のカンボジアに対する外交や開発協力のための計画や活動との整合性	<ul style="list-style-type: none"> 計画された内容(金額、分野、施設、使用計画、実施機関、開発面及び外交面での援助効果など)と、日本政府による対カンボジア外交や給水分野における開発協力のための計画や活動との整合性 「開発協力大綱」(2015年)の重点政策及び「開発協力の適正性確保のための実施原則」との整合性 <p>＜重点課題＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 「質の高い成長」とそれを通じた貧困削減 など ＜地域別重点方針＞ ハード・ソフト両面のインフラ整備支援 メコン地域への支援の強化 人材育成 など <p>＜開発協力の適正性確保のための原則＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 開発に伴う環境・気候変動への影響 公正性の確保・社会的弱者への配慮 <ul style="list-style-type: none"> 女性の参画の促進 など 	<p>【文献調査】</p> <p>＜外交政策＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 外交青書、開発協力白書 など <p>＜開発政策＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 開発協力大綱(2015年・2023年)、対カンボジア国別開発協力方針、事業展開計画、政策評価書、行政事業レビューシート、ODA 国別データブック など <p>＜他の開発関連文書＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際的な合意文(SGDs(特に目標6)など)、国際機関・他ドナーの報告書、有識者の文献 など <p>＜事業関連＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 要請書などの資料、交換公文(E/N)本文、交換公文(E/N)合意議事録及び添付資料、包括合意文書、事業完了報告書、類似案件報告書 など <p>【国内調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外務本省(国別一課、南東アジア第一課) 日本の関係省庁(国土交通省など) 調達代理機関 契約業者(コンサルタント) など <p>【現地調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> カンボジア政府関係省庁(MFAIC) 在カンボジア日本国大使館 など
1-3 計画された実施体制の適切性	1-3-1 日本政府が想定する標準的実施体制との整合性	<ul style="list-style-type: none"> 計画された実施体制と、日本政府が想定する標準的な実施体制との整合性 計画された実施・モニタリングにおける実施体制と、日本政府が想定する標準的な実施体制との整合性 	<p>【文献調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 要請書などの資料、交換公文(E/N)本文、交換公文(E/N)合意議事録及び添付書類、包括合意文書、事業完了報告書、ODA 評価ハンドブック など <p>【国内調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外務本省(国別一課) 調達代理機関 契約業者(コンサルタント、特別目的会社(SPC)^{*3}) など <p>^{*3}: 設計会社、建設会社、運営・管理会社などが含まれる。当該案件では、代表が株式会社クボタ工建、構成員が株式会社建設技研インターナショナル、株式会社ジオクラフト、及びメタウォーター株式会社。</p> <p>【現地調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> カンボジア政府関係省庁(MFAIC、MISTI など) 在カンボジア日本国大使館 など

評価 設問	検証項目	主な検証内容	情報源・情報収集方法
	1-3-2 カンボジア政府の給水分野に関する実施体制や能力などに照らした適切性	<ul style="list-style-type: none"> •カンボジア政府の給水分野に関する実施体制や能力に照らした、計画された実施機関、運営体制／構成、業務フローの適切性(適切な人材、技術、管理能力の有無など) •日本の上水施設の運営・維持管理技術を移転するのに適した技術者などによる実施体制構築の有無 •(給水分野の施設建設に係る過去の類似案件やODA評価などから留意点が想定された場合)当該案件の実施計画における対策の検討の有無 •実施機関や事業運営主体の将来的な自己投資による事業拡大の可能性を考慮した実施体制構築の有無(方策、リスク分析など) 	<p>【文献調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> •要請書などの資料、交換公文(E/N)本文、交換公文(E/N)合意議事録及び添付書類、包括合意文書、事業完了報告書、ODA評価ハンドブック など <p>【国内調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> •外務本省(国別一課) •JICA本部(地球環境部水資源グループなど) •調達代理機関 •契約業者(コンサルタント、SPC) など <p>【現地調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> •カンボジア政府関係省庁・機関(MFAIC、MISTI、MRD、KTWWなど) •在カンボジア日本国大使館、JICAカンボジア事務所 など
1 4 計画プロセスの適切性	1-4-1 日本政府の標準的な業務フローに比した適切性	<ul style="list-style-type: none"> •日本企業による提案からE/N締結までの計画プロセス、及び調達代理契約締結から事業概要合意までの詳細計画プロセスの、日本政府の標準的な業務フローに比した適切性 •「開発協力大綱」(2015年)の「開発協力の適正性確保のための実施原則」に比した計画プロセス及び詳細計画プロセスの適切性 •(該当する場合)標準的な業務フローに沿わなかった理由 	<p>【文献調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> •開発協力大綱(2015年・2023年)、要請書などの資料、概略設計報告書、交換公文(E/N)本文、交換公文(E/N)合意議事録及び添付書類、包括合意文書、事業完了報告書、ODA評価ハンドブック など <p>【国内調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> •外務本省(国別一課) •調達代理機関 •契約業者(コンサルタント、SPC) など <p>【現地調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> •カンボジア政府関係省庁(MFAIC、MISTIなど) •在カンボジア日本国大使館 など

評価設問	検証項目	主な検証内容	情報源・情報収集方法
	1-4-2 関連性・整合性確保の要因及び改善点	<ul style="list-style-type: none"> 上記 1-1-1～1-3-2 の検証項目の関連性や整合性の確保に寄与したと考えられる要因または阻害要因 上記 1-1-1～1-3-2 の検証項目の関連性や整合性の確保のために考慮すべきであった点 日本の他の ODA 事業との関連性または相乗効果創出のための工夫の有無 	<p>【文献調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 要請書などの資料、交換公文(E/N)本文、交換公文(E/N)合意議事録及び添付書類、包括合意文書、事業完了報告書、ODA 評価ハンドブック など <p>【国内調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外務本省(国別一課、南東アジア第一課) JICA 本部(東南アジア第二課 など) 調達代理機関 契約業者(コンサルタント、SPC) など <p>【現地調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> カンボジア政府関係省庁・機関(MFAIC、MISTI、KTWW など) 在カンボジア日本国大使館、JICA カンボジア事務所 など
2. 結果の有効性			
2-1 事業の達成度と効率性	2-1-1 資金供与の達成度(インプット)	<ul style="list-style-type: none"> 計画に比した供与額の費消の適切性(供与資金の使途、残余金の有無やその取扱いの適正性など) 計画された資金供与時期の適切性(手続きの迅速性・適正性、支出のタイミングなど) 	<p>【文献調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 要請書などの資料、交換公文(E/N)本文、交換公文(E/N)合意議事録及び添付書類、包括合意文書、四半期報告書、事業完了報告書 など <p>【国内調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外務本省(国別一課) 調達代理機関 など <p>【現地調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> カンボジア政府関係省庁(MFAIC、MEF、MISTI など) 在カンボジア日本国大使館 など
	2-1-2 施設建設の達成度と効率性(アウトプット)	<ul style="list-style-type: none"> 計画に比した上水施設の建設の達成度合い <ul style="list-style-type: none"> 内容(施設設計、トレーニングなど) 時期(着工、完工、引渡し、瑕疵検査など) 施設建設のタイミング面における効率性 <ul style="list-style-type: none"> 契約業者選定プロセスの迅速性 契約業者による調査、設計、調達・施工プロセスの迅速性 調達代理機関と契約業者による工程管理の適正性 など 契約内容に比した、実際の施工、引渡し、トレーニングなどの付帯事項、瑕疵検査などの適正性 施設建設の価格面における効率性(供与金額に対する施設建設 	<p>【文献調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 要請書などの資料、交換公文(E/N)本文、交換公文(E/N)合意議事録及び添付書類、包括合意文書、四半期報告書、事業完了報告書、日本政府やカンボジア政府によるプレスリリース、現地の新聞やウェブ上の記事 など <p>【国内調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外務本省(国別一課、南東アジア第一課) 調達代理機関 契約業者(コンサルタント、SPC) など <p>【現地調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> カンボジア政府関係省庁・機関(MFAIC、MEF、MISTI、MRD、KTWW など) 在カンボジア日本国大使館 など

評価 設問	検証項目	主な検証内容	情報源・情報収集方法
		<p>の予算比率、類似施設の価格との比較など)</p> <ul style="list-style-type: none"> 引渡し式の様子などに関する国内及び現地における広報・報道の有無(広報効果による日本のプレゼンス向上への貢献) 	
	2-1-3 建設された施設の使用状況(アウトプット)	<ul style="list-style-type: none"> 建設された施設の使用状況(対象、目的、程度など) 建設された施設の裨益者層(ジェンダーや社会経済階層の考慮など、インクルーシブな社会の促進や公正性の確保の観点を含む。) 計画時に設定された成果の達成度合い 現地の技術者に対する、日本の技術を導入した上水施設の運営・維持管理技術の移転の程度 事業・運営権対応型無償資金協力の特徴をいかした運営・維持管理の実施状況 サービス内容や料金制度に対する利用者の満足度 	<p>【文献調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 要請書などの資料、交換公文(E/N)本文、交換公文(E/N)合意議事録及び添付書類、包括合意文書、四半期報告書、事業完了報告書 など <p>【国内調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外務本省(国別一課、南東アジア第一課) 調達代理機関 契約業者(コンサルタント、SPC) など <p>【現地調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> カンボジア関係省庁・機関(MFAIC、MISTI、MRD、KTWW など) 在カンボジア日本国大使館、JICAカンボジア事務所 受益者(周辺の病院、学校、水道サービスの利用者) など
	2-1-4 建設された施設の使用を通じた開発効果(アウトカム)	<ul style="list-style-type: none"> 建設された施設の使用による、当初期待された開発効果への貢献の有無/見込み 上水整備による利便性の向上や、受益者への副次的効果の有無/見込み(家事・育児の負担軽減、衛生環境の向上、疾病予防による教育や経済活動の機会向上など) 安定した水供給による地元産業への影響の有無/見込み(商業・農業活動の発展、水関連ビジネスへの貢献など) 当該案件を通じた施設建設による、カンボジアにおける国レベルの関連指針の変化の有無/見込み 建設された施設の使用による、カンボジアの給水分野の改善に向けた政府や開発パートナーの取組への貢献の有無/見込み 給水分野における政府や他ドナーの年次進捗報告書などにおける、当該案件や日本政府による支援の明示の有無 	<p>【文献調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 要請書などの資料、交換公文(E/N)本文、交換公文(E/N)合意議事録及び添付書類、包括合意文書、四半期報告書、事業完了報告書、カンボジア政府や他ドナーの年次進捗報告書 など <p>【国内調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外務本省(国別一課) 調達代理機関 契約業者(コンサルタント、SPC) など <p>【現地調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> カンボジア関係省庁・機関(MFAIC、MISTI、MRD、KTWW など) 在カンボジア日本国大使館、JICAカンボジア事務所 国際機関現地事務所(WHO、UNICEF など) 受益者(周辺の病院、学校、水道サービスの利用者) など

評価設問	検証項目	主な検証内容	情報源・情報収集方法
2-2 実施・モニタリング・フォローアップのプロセスの適切性		<ul style="list-style-type: none"> 今後、外務省が国別評価を実施する際に、開発効果として検証することが望ましい点 	
	2-1-5 建設された施設の使用を通じた外交上の効果(アウトカム)	<ul style="list-style-type: none"> 建設された施設の使用による、日本の質の高いインフラのプロモーションへの貢献の有無/見込み(引渡し式に関する現地報道など) 官民連携や民間投資による日本企業への影響(海外展開の促進など) 建設された施設の使用による、日本政府によるカンボジアとの外交関係の進展への貢献の有無/見込み 今後、外務省が国別評価を実施する際に、外交上の効果として検証することが望ましい点 	<p>【文献調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 要請書などの資料、交換公文(E/N)本文、交換公文(E/N)合意議事録及び添付書類、包括合意文書、四半期報告書、事業完了報告書、他ドナーの年次報告書、日本政府やカンボジア政府によるプレスリリース、現地の新聞やウェブ上の記事 など <p>【国内調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外務本省(国別一課、南東アジア第一課) 調達代理機関 契約業者(コンサルタント、SPC) など <p>【現地調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> カンボジア関係省庁・機関(MFAIC、MISTI) 在カンボジア日本国大使館 JETRO プノンペン事務所、JBAC など
	2-2-1 日本政府の標準的な業務フローに比した適切性	<ul style="list-style-type: none"> 当該案件の実施・モニタリング・フォローアップのプロセスの、日本政府の標準的な業務フローに比した適切性(計画に対して遅延が発生した場合の対応など) カンボジア政府と調達代理機関、調達代理機関と契約業者(コンサルタント、SPC)の契約の管理の透明性及び適切性 資金管理(報告、プロセスなど)の適切性 	<p>【文献調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 要請書などの資料、交換公文(E/N)本文、交換公文(E/N)合意議事録及び添付書類、包括合意文書、四半期報告書、事業完了報告書、ODA 評価ハンドブック、「無償資金協力(調達代理方式)に係る調達手続実施要領」など <p>【国内調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外務本省(国別一課) 調達代理機関 契約業者(コンサルタント、SPC) など <p>【現地調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> カンボジア関係省庁・機関(MFAIC、MISTI、KTWW など) 在カンボジア日本国大使館 など
2-2-2 効果や達成度確保の要因及び改善点	<ul style="list-style-type: none"> 上記 2-1-1~2-1-5 の検証項目の効果や達成度合いの確保に寄与したと考えられる要因または阻害要因 上記 2-1-1~2-1-5 の検証項目の効果や達成度合いの確保のために考慮すべきであった点 事業運営主体による将来的な自己投資を通じた事業拡大の可能性 政府や地方自治体などによる、水資源管理政策や上水施設運営の 	<p>【文献調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 要請書などの資料、交換公文(E/N)本文、交換公文(E/N)合意議事録及び添付書類、包括合意文書、四半期報告書、事業完了報告書、ODA 評価ハンドブック、「無償資金協力(調達代理方式)に係る調達手続実施要領」など <p>【国内調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外務本省(国別一課) JICA 本部(東南アジア第二課) 調達代理機関 	

評価設問	検証項目	主な検証内容	情報源・情報収集方法
		<p>ための予算配分に関する検討の有無／見込み、または予算配分決定プロセスへの貢献の有無</p> <ul style="list-style-type: none"> 上水サービスの料金設定の適正性、及び対象地域の経済状況や利用者(周辺住民)の支払い能力に照らした適正性 当該案件終了後の外部からの投資の見通し(他ドナーからの支援、民間資本の確保など) 現地サプライチェーン(現地調達)の建設資機材や人材など)及び施設の維持・保守管理の持続可能性 当該案件の終了後も採算が取れるビジネスモデルの確立の有無 料金徴収、施設使用状況、維持・保守管理などに係る定期的なモニタリングやデータ収集の実施及び改善のための取組の有無 収益の低下や運営リスク(料金滞納、設備故障など)に対する備えの有無 日本の他の ODA 事業との関連性または相乗効果の有無／見込み 洪水などの自然災害のリスクに対応する施設設計、及びそれによる水資源管理の強靱性向上への貢献の有無／見込み 取水源の枯渇を防ぐための管理の有無(地下水過剰利用の抑制、水源保護など) 	<ul style="list-style-type: none"> 契約業者(コンサルタント、SPC) など <p>【現地調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> カンボジア関係省庁・機関(MFAIC、MISTI、MRD、KTWW など) 在カンボジア日本国大使館、JICA カンボジア事務所 など

(2)「令和 2 年度経済社会開発計画」の評価の枠組み

表 1-5 「令和 2 年度経済社会開発計画」の評価の枠組み

評価設問	評価項目	主な検証項目	情報源・情報収集方法
1. 計画の妥当性			
1.1. 目的の関連性	1-1-1 カンボジアの開発ニーズ及び開発政策との関連性	<ul style="list-style-type: none"> 当該案件の目的や期待された援助効果と、カンボジアの開発ニーズ(分野、裨益地域、対象者など)、開発政策及び保健・医療分野の開発計画との関連性 	<p>【文献調査】</p> <p>＜カンボジア政府の開発政策文書＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 「カンボジア・ビジョン 2030」、「四辺形戦略フェーズ 4」、「NSDP 2019-2023」、「カンボジアの持続可能な開発目標(SDGs)フレームワーク 2016-2030」、「国家保健戦略計画 2016-2020」、「保健戦略計画

評価設問	評価項目	主な検証項目	情報源・情報収集方法
			<p>2016-2020」、「保健品質向上マスタープラン 2017-2022」、「ユニバーサルヘルスカバレッジに向けたロードマップ 2024-2035」、「COVID-19とともに生きる新しい日常 2021-2023における経済回復のための戦略枠組み及びプログラム」など</p> <p><他の開発関連文書></p> <ul style="list-style-type: none"> 国際的な合意文(SDGs(特に目標3)など)、国際機関・他ドナーの報告書・統計、有識者の文献 など <p><事業関連></p> <ul style="list-style-type: none"> 要請書などの資料、大使館コメント票、財務実行協議資料、交換公文(E/N)本文、交換公文(E/N)合意議事録及び添付資料、政府間協議会(以下、「コミティー」と言う)議事録などの資料、事業完了報告書、類似案件報告書(カンボジアにおけるコロナ危機対応緊急支援) など <p>【国内調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外務本省(国際協力局国別開発協力第一課(以下、「国別一課」と言う)) JICA 本部(人間開発部、東南アジア・大洋州部東南アジア第二課(以下、「東南アジア第二課」と言う)など) 調達代理機関 など <p>【現地調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> コミティー／カンボジア関係省庁・機関(保健省(MOH)など) 在カンボジア日本国大使館、JICAカンボジア事務所 供与対象医療機関 国際機関・他ドナー現地事務所(WHO など)
	1-1-2 日本政府の外交政策及び開発協力政策との関連性	<ul style="list-style-type: none"> 当該案件の目的や期待された援助効果と日本の外交政策及び対カンボジア開発協力政策の、内容及びタイミングにおける関連性 日本の政策の遂行のための迅速性や援助表明の必要性(コロナ禍という特殊な状況下における迅速な対応の必要性を含む。) 「経済社会開発計画」として採択されたことの妥当性 	<p>【文献調査】</p> <p><外交政策></p> <ul style="list-style-type: none"> 外交青書、開発協力白書 など <p><開発政策></p> <ul style="list-style-type: none"> 開発協力大綱、対カンボジア国別開発協力方針、事業展開計画、政策評価書、行政事業レビューシート、ODA 国別データブック など <p><事業関連></p> <ul style="list-style-type: none"> 要請書などの資料、大使館コメント票、財務実行協議資料、交換公文(E/N)本文、交換公文(E/N)合意議事録及び添付書類、日本政府や

評価設問	評価項目	主な検証項目	情報源・情報収集方法
		<ul style="list-style-type: none"> 日本製品のプロモーションや日系企業の海外展開などの政策との関連性 国際的な政治経済情勢(国際的な会議・情勢、要人の往来、政権交代など)のタイミングとの関連性 援助表明や E/N 締結時における、国内及び現地での当該案件に関する広報・報道の有無(広報効果による日本のプレゼンス向上への貢献) 	<p>カンボジア政府によるプレスリリース、現地の新聞やウェブ上の記事など</p> <p>【国内調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外務本省(国別一課、南東アジア第一課) 調達代理機関 など <p>【現地調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> コミッティー／カンボジア関係省庁(MFAIC、MOH など) 在カンボジア日本国大使館、JICAカンボジア事務所 JETRO プノンペン事務所 など
1・2・計画された事業内容の整合性	1-2-1 カンボジアの保健・医療分野のニーズ及び同分野におけるカンボジア政府の開発計画や活動との整合性	<ul style="list-style-type: none"> 計画された事業内容(金額、分野、品目(種類)、使用計画、実施機関、エンドユーザー、開発面及び外交面での援助効果など)と、カンボジアの保健・医療分野のニーズ及び同分野におけるカンボジア政府の開発計画や活動との整合性 	<p>【文献調査】</p> <p><u>＜カンボジアの保健・医療分野に関する開発政策＞</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 「保健戦略計画 2016-2020」、「保健品質向上マスタープラン 2017-2022」、「ユニバーサルヘルスカバレッジに向けたロードマップ(2024～2035)」、「COVID-19 とともに生きる新しい日常 2021-2023 における経済回復のための戦略枠組み及びプログラム」など <p><u>＜事業関連＞</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 要請書などの資料、大使館コメント票、交換公文(E/N)本文、交換公文(E/N)合意議事録及び添付資料、コミッティー議事録などの資料、事業完了報告書、類似案件報告書 など <p>【国内調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外務本省(国別一課) JICA 本部(人間開発部、東南アジア第二課など) 調達代理機関 など <p>【現地調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> コミッティー／カンボジア関係省庁(MOH など) 在カンボジア日本国大使館、JICAカンボジア事務所 など
	1-2-2 日本政府のカンボジアに対する外交や開発協力のための計画や活動との整合性	<ul style="list-style-type: none"> 計画された内容(金額、分野、品目(種類)、使用計画、実施機関、エンドユーザー、開発面及び外交面での援助効果など)と、日本政府による対カンボジア外交や保健・医療分野における開発協力のため計画や活動との整合性 「開発協力大綱」(2015年)の重点課題及び「開発協力の適 	<p>【文献調査】</p> <p><u>＜外交政策＞</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 外交青書、開発協力白書 など <p><u>＜開発政策＞</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 開発協力大綱、対カンボジア国別開発協力方針、事業展開計画、政策評価書、行政事業レビューシート、ODA 国別データブック など <p><u>＜他の開発関連文書＞</u></p>

評価設問	評価項目	主な検証項目	情報源・情報収集方法
		<p>正性確保のための実施原則」との整合性</p> <p><u>＜重点課題＞</u></p> <ul style="list-style-type: none"> - 「質の高い成長」とそれを通じた貧困削減 - 地球規模課題への取組を通じた持続可能で強靱な国際社会の構築 <p><u>＜地域別重点方針＞</u></p> <ul style="list-style-type: none"> - ハード・ソフト両面のインフラ整備支援 - メコン地域への支援の強化など <p><u>＜開発協力の適正性確保のための原則＞</u></p> <ul style="list-style-type: none"> - 開発に伴う環境・気候変動への影響 - 公正性の確保・社会的弱者への配慮 - 女性の参画の促進 など 	<ul style="list-style-type: none"> • 国際的な合意文(SGDs(特に目標3)など)、国際機関・他ドナーの報告書、有識者の文献 など <p>【国内調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 外務本省(国別一課、南東アジア第一課) • 調達代理機関 など <p>【現地調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> • コミッティー／カンボジア関係省庁(MOHなど) • 在カンボジア日本国大使館 など
1.3. 計画された実施体制の適切性	1-3-1 日本政府が想定する標準的実施体制との整合性	<ul style="list-style-type: none"> • 計画された実施体制と、日本政府が想定する標準的な実施体制との整合性 	<p>【文献調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 要請書などの資料、大使館コメント票、交換公文(E/N)本文、交換公文(E/N)合意議事録及び添付書類、コミッティー議事録などの資料、事業完了報告書、ODA 評価ハンドブック など <p>【国内調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 外務本省(国別一課) • 調達代理機関 など <p>【現地調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> • コミッティー／カンボジア関係省庁(MFAIC、MOHなど) • 在カンボジア日本国大使館 など

評価設問	評価項目	主な検証項目	情報源・情報収集方法
	1-3-2 カンボジア政府の保健・医療分野に関する実施体制や能力などに照らした適切性	<ul style="list-style-type: none"> カンボジア政府の保健・医療分野に関する実施体制や能力に照らした、計画された実施機関／エンドユーザー、運営体制／構成、業務フローの適切性（適切な人材、技術、管理能力の有無など） コロナ禍という特殊な状況における、整備された機材を有効に活用するための体制整備状況（地域間連携を含む。） （保健・医療分野の機材整備などに係る過去の類似案件やODA評価などから留意点が想定された場合）当該案件の実施計画における対策の検討の有無 実施機関／エンドユーザーの将来的な自己投資による維持管理やサービス拡大の可能性を考慮した実施体制構築の有無（方策、リスク分析など） 	<p>【文献調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 要請書などの資料、大使館コメント票、交換公文（E/N）本文、交換公文（E/N）合意議事録及び添付書類、コミッティー議事録などの資料、事業完了報告書、ODA評価ハンドブックなど <p>【国内調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外務本省（国別一課） JICA本部（人間開発部、東南アジア・大洋州部東南アジア第二課（以下、「東南アジア第二課」と言う）など） 調達代理機関 納入業者 など <p>【現地調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> コミッティー／カンボジア関係省庁（MOHなど） 在カンボジア日本国大使館、JICAカンボジア事務所 機材整備対象医療機関 現地代理店 など
1-4 計画プロセスの適切性	1-4-1 日本政府の標準的な業務フローに比した適切性	<ul style="list-style-type: none"> 要請からE/N締結までの計画プロセス、及び調達代理契約締結から調達品目決定までの詳細計画プロセスの、日本政府の標準的な業務フローに比した適切性 開発協力大綱（2015年）の「開発協力の適正性確保のための実施原則」に比した計画プロセス及び詳細計画プロセスの適切性 （該当する場合）標準的な業務フローに沿わなかった理由 	<p>【文献調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 開発協力大綱（2015年・2023年）、要請書などの資料、大使館コメント票、交換公文（E/N）本文、交換公文（E/N）合意議事録及び添付書類、コミッティー議事録などの資料、事業完了報告書、ODA評価ハンドブック など <p>【国内調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外務本省（国別一課） 調達代理機関 など <p>【現地調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> コミッティー／カンボジア関係省庁（MOHなど） 在カンボジア日本国大使館 など
	1-4-2 関連性・整合性確保の要因及び改善点	<ul style="list-style-type: none"> 上記1-1-1～1-3-2の検証項目の関連性や整合性の確保に寄与したと考えられる要因または阻害要因 上記1-1-1～1-3-2の検証項目の関連性や整合性の確保のために考慮すべきであった点 日本の他のODA事業との関連性または相乗効果創出のための工夫の有無 	<p>【文献調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 要請書などの資料、大使館コメント票、交換公文（E/N）本文、交換公文（E/N）合意議事録及び添付書類、コミッティー議事録などの資料、事業完了報告書、ODA評価ハンドブック など <p>【国内調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外務本省（国別一課、南東アジア第一課） JICA本部（資金協力業務部、人間開発部、東南アジア第二課など）

評価設問	評価項目	主な検証項目	情報源・情報収集方法
			<ul style="list-style-type: none"> 調達代理機関 など 【現地調査】 <ul style="list-style-type: none"> コミッティー／カンボジア関係省庁・機関 (MFAIC、MOH など) 在カンボジア日本国大使館、JICA カンボジア事務所 など
2. 結果の有効性			
2-1 事業の達成度と効率性	2-1-1 資金供与の達成度 (インプット)	<ul style="list-style-type: none"> 計画に比した供与額の費消の適切性(供与資金の用途、残余金の有無やその取扱いの適正性など) 計画された資金供与と時期の適切性(手続きの迅速性・適正性、支出のタイミングなど) 	【文献調査】 <ul style="list-style-type: none"> 要請書などの資料、大使館コメント票、交換公文(E/N)本文、交換公文(E/N)合意議事録及び添付書類、コミッティー議事録などの資料、四半期報告書、事業完了報告書 など 【国内調査】 <ul style="list-style-type: none"> 外務本省(国別一課) 調達代理機関 など 【現地調査】 <ul style="list-style-type: none"> コミッティー／カンボジア関係省庁(MFAIC、経済財務省(MEF)、MOH など) 在カンボジア日本国大使館 など
	2-1-2 機材整備の達成度と効率性(アウトプット)	<ul style="list-style-type: none"> 計画に比した機材整備の達成度合い <ul style="list-style-type: none"> - 程度(内容、数量) - 時期 - 引渡し、トレーニング など 機材整備のタイミング面における効率性 <ul style="list-style-type: none"> - 納入業者選定プロセスの迅速性(コロナ対応という特殊性に鑑みた市場の供給状況を含む) - 納入業者による製造・輸送・納入プロセスの迅速性 - 新型コロナウイルス感染症拡大時における輸出入制限の影響の有無 - 調達代理機関と納入業者による工程管理の適正性 - 他ドナーの支援と比較した日本の支援の即応性 など 機材整備の価格面における効率性(供与金額に対する調達機材の量の比率、類似機材の価格との比較など) 新型コロナウイルス感染症対応のピーク時における整備された機材の活用程度(利用者数、 	【文献調査】 <ul style="list-style-type: none"> 要請書などの資料、大使館コメント票、交換公文(E/N)本文、交換公文(E/N)合意議事録及び添付書類、コミッティー議事録などの資料、四半期報告書、事業完了報告書、日本政府やカンボジア政府によるプレスリリース、現地の新聞やウェブ上の記事 など 【国内調査】 <ul style="list-style-type: none"> 外務本省(国別一課、南東アジア第一課) 調達代理機関 納入業者 など 【現地調査】 <ul style="list-style-type: none"> コミッティー／カンボジア関係省庁・機関(MFAIC、MEF、MOH など) 在カンボジア日本国大使館 機材整備対象医療機関 現地代理店 など

評価設問	評価項目	主な検証項目	情報源・情報収集方法
		<p>頻度など)、及び使用時の課題の有無</p> <ul style="list-style-type: none"> 引渡し式の様子などに関する国内及び現地における広報・報道の有無(広報効果による日本のプレゼンス向上への貢献) 	
	2-1-3 機材の使用状況(アウトプット)	<ul style="list-style-type: none"> 整備された機材の使用状況(対象、目的、頻度、稼働時間など) 十分かつ適切な頻度での整備された機材の使用のための維持管理の適切性(納入時の初期操作指導の効果、放置・未活用リスクの有無を含む。) 整備された機材の裨益者層(ジェンダーや社会経済階層の考慮など、インクルーシブな社会の促進や公正性の確保の観点を含む。) 計画時に設定されたアウトプットの達成度合い 	<p>【文献調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 要請書などの資料、大使館コメント票、交換公文(E/N)本文、交換公文(E/N)合意議事録及び添付書類、コミッティー議事録などの資料、四半期報告書、事業完了報告書 など <p>【国内調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外務本省(国別一課) 調達代理機関 など <p>【現地調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> コミッティー／カンボジア関係省庁・機関(MOH など) 在カンボジア日本国大使館 機材整備対象医療機関 現地代理店 受益者(病院関係者、利用者) など
	2-1-4 機材の整備や使用を通じた開発効果(アウトカム)	<ul style="list-style-type: none"> 整備された機材の使用による、当初期待された開発効果への貢献の有無／見込み 対象地域の保健医療システムの強化やサービスの向上への貢献の有無／見込み 整備された機材に対する受益者(病院関係者、利用者など)の満足度(患者の受診数の増加や医療従事者の負担軽減など、受益者の行動変容につながり得る効果を含む。) 病院の機能強化による地元産業への影響の有無／見込み(医薬品や医療機器関連のビジネスへの貢献など) 当該案件を通じた機材整備による、カンボジアにおける国レベルの関連指針の変化の有無／見込み 整備された機材の使用による、カンボジアの保健・医療分野の改善に向けた政府や開発パートナーへの取組への貢献の有無／見込み 	<p>【文献調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 要請書などの資料、大使館コメント票、交換公文(E/N)本文、交換公文(E/N)合意議事録及び添付書類、コミッティー議事録などの資料、四半期報告書、事業完了報告書、カンボジア政府や他ドナーの年次進捗報告書 など <p>【国内調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外務本省(国別一課) 調達代理機関 納入業者 など <p>【現地調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> コミッティー／カンボジア関係省庁(MFAIC、MOH など) 在カンボジア日本国大使館 機材整備対象医療機関 現地代理店 国際機関現地事務所(WHO など) 受益者(病院関係者、利用者) など

評価設問	評価項目	主な検証項目	情報源・情報収集方法
	2-1-5 機材の整備や使用を通じた外交上の効果（アウトカム）	<ul style="list-style-type: none"> 保健・医療分野における政府や他ドナーの年次進捗報告書などにおける、当該案件や日本政府の支援の明示の有無 今後、外務省が国別評価を実施する際に、開発効果として検証することが望ましい点 整備された機材の使用による、高品質な日本の技術・製品のプロモーションへの貢献の有無／見込み（引渡し式に関する現地報道など） 機材の整備や使用による、日本政府によるカンボジアとの外交関係の進展への貢献の有無／見込み カンボジア政府の取組や他ドナーによる支援との補完性、及び他ドナーの支援との重複やギャップの有無 今後、外務省が国別評価を実施する際に、外交上の効果として検証することが望ましい点 	<p>【文献調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 要請書などの資料、大使館コメント票、交換公文（E/N）本文、交換公文（E/N）合意議事録及び添付書類、コミッティー議事録などの資料、四半期報告書、事業完了報告書、カンボジア政府や他ドナーの年次進捗報告書、日本政府やカンボジア政府によるプレスリリース、現地の新聞やウェブ上の記事 など <p>【国内調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外務本省（国別一課、南東アジア第一課） 調達代理機関 納入業者 など <p>【現地調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> コミッティー／カンボジア関係省庁・機関（MFAIC、MOH など） 在カンボジア日本国大使館 JETRO プノンペン事務所 機材整備対象医療機関 現地代理店 国際機関現地事務所（WHO など）
2・2・実施・モニタリング・フォローアップの過程の適切性	2-2-1 日本政府の標準的な業務フローに比した適切性	<ul style="list-style-type: none"> 当該案件の実施、モニタリング、フォローアップのプロセスの、日本政府の標準的な業務フローに比した適切性（計画に対して遅延が発生した場合の対応など） 資金管理（報告、プロセスなど）の適切性 	<p>【文献調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 要請書などの資料、大使館コメント票、交換公文（E/N）本文、交換公文（E/N）合意議事録及び添付書類、コミッティー議事録などの資料、四半期報告書、事業完了報告書、ODA 評価ハンドブック、「無償資金協力（調達代理方式）に係る調達手続実施要領」など <p>【国内調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 外務本省（国別一課） 調達代理機関 納入業者 など <p>【現地調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> コミッティー／カンボジア関係省庁・機関（MOH など） 在カンボジア日本国大使館 現地代理店 など
	2-2-2	<ul style="list-style-type: none"> 上記 2-1-1-～2-1-5 の検証項目の効果や達成度合いの確保 	【文献調査】

評価設問	評価項目	主な検証項目	情報源・情報収集方法
	効果や達成度確保の要因及び改善点	<p>に寄与したと考えられる要因または阻害要因</p> <ul style="list-style-type: none"> • 上記 2-1-1～2-1-5 の検証項目の効果や達成度合いの確保のために考慮すべきであった点 • 整備された機材の適切な操作・維持管理のための十分な研修(納入時トレーニングなど)実施の有無 • 既存の医療システムとの統合などによる、整備された機材の活用の適切性 • 現地サプライチェーンを活用した維持管理の持続可能性(必要部品の入手可能性、現地代理店の有無、技術者の能力など) • 周辺の地域や病院における、医療サービス改善に向けた自主的な取組開始の有無／見込み • 日本の他の ODA 事業との関連性または相乗効果の有無／見込み • 政府や地方自治体による、保健政策における医療機材調達や管理の改善、病院運営のための予算確保に関する検討の有無／見込み、または予算配分決定プロセスへの貢献の有無 • 当該案件終了後の外部(他ドナーなど)からの支援の見通し 	<ul style="list-style-type: none"> • 要請書などの資料、大使館コメント票、交換公文(E/N)本文、交換公文(E/N)合意議事録及び添付書類、コミッティー議事録などの資料、四半期報告書、事業完了報告書、ODA 評価ハンドブック、「無償資金協力(調達代理方式)に係る調達手続実施要領」など <p>【国内調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 外務本省(国別一課) • JICA 本部(資金協力事業部、人間開発部、東南アジア第二課) • 調達代理機関 • 納入業者 など <p>【現地調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> • コミッティー／カンボジア関係省庁・機関(MFAIC、MOH など) • 在カンボジア日本国大使館、JICA カンボジア事務所 • 機材整備対象医療機関 • 現地代理店 など

第2章 評価結果に至る各種調査内容の詳細

1. 「平成 28 年度コンポントム上水道拡張計画」に係る調査結果の詳細

本別冊では、国内外でのインタビューの結果や詳細設計書の内容をもとに、評価報告書本文では詳しく触れられなかった事業の背景を3つのテーマで紹介する。

(1) セン川の自然条件と「川と共生する」浄水場づくり

コンポントム州ストウンセン市の水源であるセン川は、雨季と乾季で水位が大きく変わる、扱いの難しい川である。雨季には川が大きく増水して水が河岸ぎりぎりまで迫る一方、乾季には水面がぐっと下がり、河床が広く露出する。既存の浄水場では、この水位変動に合わせて職員が取水管の長さを調整し、水面に取水口が届くようにしなければならなかった。これは、炎天下や足場の悪い場所で行う重労働であり、安全面のリスクも大きかった。

新浄水場の計画では、こうした職員の負担を減らしつつ、年間を通じて安定的に水を取り込むことが大きな課題となった。そのためには、単に「大きな取水口を造る」だけでなく、セン川の流れの癖や地形の特徴をふまえた、きめ細やかな検討が必要であった。具体的には、次のような点について、現地での測量や関係者との協議を重ねながら調整を行った。

- 洪水時にも河岸が削られにくい位置・高さの選定
- 住民が集まるボートレース会場や遊歩道への景観・利用面での配慮
- 大雨時でも周辺の住宅地や農地に悪影響を与えにくい排水の流し方
- 既にカンボジア側が整備していた護岸との安全で滑らかな「つなぎ方」

取水位置については、当初案よりも上流側に移すこととした。これにより、

- 河川のカーブ形状や流速を踏まえた、より安定した地点を選定できること
- 住民がイベントで集まる一帯から距離をとり、景観への影響を抑えられること

といった点に配慮した。この変更は、図面だけでは判断できない現場の状況を踏まえた修正であり、日本側・カンボジア側の担当者が何度も現場に足を運んだ結果である。

排水先の検討も同様である。浄水場の運転では、沈殿池やろ過池を洗浄した際に排水が一定量発生する。この排水の流し先を誤ると、大雨時に周辺の排水路があふれ、住民の生活に悪影響を与えるおそれがある。そこで、既存の小さな水路だけに頼るのではなく、セン川本流のうち、取水地点の下流側に排水を合流させる計画とした。これにより、自然の大きな流れを活用しつつ、周辺の生活環境への影響を抑える方針をとした。

護岸についても、カンボジア側事業で既に整備されていた区間と、日本側が新たに整備する区間が混在する状況にあった。その「つぎ目」が構造上の弱点にならないよう、慎重な検討が必要であった。既存護岸の詳細な設計情報が限られる中で、現地測量を行い、河岸断面や地盤状態を確認したうえで、日本側が整備する護岸の形状や長さを調整し、全体として一体的に機能するよう計画している。こうした検討と調整の積

み重ねにより、洪水時にも壊れにくく、平常時の運転・点検もしやすい取水設備及び護岸が実現した。セン川の性質や地域の暮らしの双方に目を向け、「セン川と共生できる浄水場」を目指した点が、この事業における大きな工夫のひとつである。

(2) 新旧浄水場と配水管を一体で考えた「まち全体の水のデザイン」

コンポントム州ストウンセン市では、事業実施前から既存浄水場が稼働していたが、人口増加や生活水準の向上に伴い、水需要が浄水場の処理能力を上回るようになっていた。ポンプの運転時間を延長するなどして対応していたものの、水圧不足や断水が起きやすく、将来の需要増にも十分対応できない状況であった。このため、新しい浄水場を建設するだけでなく、「まち全体でどう水を回すか」を合わせて見直すことが重要なテーマとなった。どの地域に、どの浄水場から水を送るかを設計することは、単なる配管工事ではなく、「まちの水の地図」を描き直す作業でもあった。設計段階では、「新浄水場からどの地区へ水を送るか」、「既存浄水場が担当する地区をどう見直すか」、「二つの浄水場どうしをどのような排水管でつなぎ、お互いのバックアップとするか」などについて、人口の増え方や地形、既存の配水管の状態を踏まえながら、何度も計画を引き直した。一部の地区では、もともと既存浄水場から給水していたエリアを新浄水場側に切り替えることで、水圧の弱さを解消するとともに、既存浄水場の負担を軽くする工夫も行った。

加えて、災害や故障への備えも重視した。どちらか一方の浄水場にトラブルが生じて、もう一方の浄水場から一時的に水を回せるよう、主要な配水管どうしをバルブでつなぐ「迂回路」を計画している。平常時にはそれぞれの浄水場が担当エリアに給水するが、非常時にはバルブの開閉によって水の流れを切り替えられるようにすることで、市全体としてのレジリエンスを高める設計とした。

さらに、町をいくつかの「ブロック」に分けて配水量や水圧を管理し、浄水場の中央監視室から一括して状況を確認できる仕組みも導入した。これらのブロックは、道路や川、地形などを目安に区切られており、それぞれの入口となる地点に流量計や圧力計を設置している。これにより、「どのブロックで水の使われ方が急に変わったか」、「夜間にも水が異常に流れ続けており、漏水の可能性が高い場所はどこか」、「どの地域の水圧が下がっているか」といった情報を早期に把握できるようになった。こうした排水状況の「見える化」は、現在の運転状況を把握するだけでなく、将来、配水計画を見直す際の重要な判断材料にもなる。

あわせて、中央監視室や会議室、実験室などを備えた管理棟も整備し、職員が運転状況をモニターしながら学び合える「場」をつくったことも、長期的な運営力を支える工夫となっている。監視室では、取水・浄水・配水の各設備の稼働状況を画面上で確認でき、異常があれば警報が表示される。会議室や事務スペースは、日々の打合せや研修、データ分析の場として活用されることを想定している。

このように、「設備」と「人」を一体で支える空間づくりも、「まち全体の水のデザイン」

の重要な要素として位置付けられている。

(3) 「事業・運営権対応型無償」を現場でいかすための仕組みと人づくり

本事業は、「事業・運営権対応型無償」の枠組みを用い、日本企業が現地に設立した特別目的会社（SPC）が一定期間、浄水場及び配水設備の運営を担う仕組みとなっている。目的は、「造って終わり」にせず、「造ったあとも、定められた水質と給水時間を守りながら、事業を持続的に運営できるようにする」ことであり、従来型の無償資金協力より一歩踏み込んで運営段階までを視野に入れた事業である。そのため、実施方針では次のような点を具体的に定めている。

- 建設から運転開始までを一連の事業として捉え、途中で途切れが生じないようにすること
- カンボジア政府側とSPCの役割やリスクの分担をあらかじめ整理し、責任の所在を明確にすること
- 給水時間、水質、故障時の対応など、利用者との「約束ごと」を契約に明記し、その達成状況を定期的に確認すること

水質については、どの項目についてどの基準を満たすべきかを定め、SPCが水質検査の結果を記録・報告する義務を負う。給水時間についても、1日当たり何時間以上給水するかといった目標を設定し、その達成状況をカンボジア側が確認する仕組みを設けることとしている。SPCは日々の運転データや水質データを蓄積・報告し、カンボジア側の水道公社はそれらのデータを読み解きながら、将来的に自ら運営をマネジメントできるようになることが期待されている。

人材面では、建設段階から業務に携わってきた現地職員が運営チームの中心を担っている。施工段階から施設に慣れ親しんできた人材が、そのまま運転・維持管理を担う体制とすることで、「造った人材」と「運営する人材」が完全に分かれてしまうことを避け、ノウハウの引継ぎをスムーズにするねらいがある。将来的には、これらの職員がスウンセン水道公社に移り、新旧両方の浄水場を支えることが想定されており、その受け皿となる組織づくりも進められている。

また、管理棟の会議室や実験室、水質分析機器の整備には、こうした人材育成の「場づくり」という意味も込められている。会議室では運転状況のレビューや改善策の検討を行い、実験室では水質分析の訓練や日常的な検査を実施することで、現地職員が自ら考え、判断できる力を高めていくことが期待される。

さらに、本事業では、浄水場や配水管といった大きな設備だけでなく、家庭用給水メーターや接続キットもセットで支援した。水道を新たに引く際の「初期の工事費」は、配管工への支払いも含め、貧困層にとって大きな負担となることが多い。そこで、接続キットを無償で提供することで、この初期費用の一部を下げ、水道接続のハードルを軽減する工夫を行った。この結果、「水道を使いたい、接続費を払えない」という世帯

にも、水道利用のチャンスが広がった。現地での聞き取りからも、給水エリアの拡大に伴い、家庭での水道利用に対する期待が高まっている様子が見えてきた。

一方で、SPC の法人税の取り扱いなど、新しいスキームであったからこそ顕在化した制度面の課題もあった。日本側にとっても、事業・運営権対応型無償は事例の多くないスキームであり、法人の位置付けや税制、将来の運営権の扱いなどについて、当初の想定と異なる点が明らかになった部分もある。これらの経験は、今後同じ仕組みを用いる際に、制度面の事前確認や関係当局との交渉を、より丁寧かつ具体的に行う必要があるという教訓として整理されており、「スキーム面での学び」として次の案件にいかされていくことが期待される。

2. 「令和2年度経済社会開発計画」に係る調査結果の詳細

(1) 政府間協議会(コミッティー)での合意内容

表 2-1 各コミッティーでの合意内容

第1回コミッティー

納入先	品目	数量	金額	供与額に占める割合
MOH	超音波画像診断装置	1	¥27,500,000	
	サーモグラフィー	10	¥22,000,000	
	移動式X線撮影装置	10	¥110,000,000	
	救急車	5*	¥55,000,000	
	携帯型超音波スキャナー	25	¥68,750,000	
	高濃度酸素発生器	100	¥44,000,000	
	血圧計	100	¥1,100,000	
	発電機(小)	100	¥8,800,000	
第1バッチ 機材費(第1回コミッティーでの選定品目)			¥337,150,000	16.85%
調達代理機関費			¥50,000,000	2.50%
残余額			¥1,612,850,000	80.64%
計			¥2,000,000,000	100.00%

*当初計画では100台の救急車の調達が予定されていたが、迅速な納入のために、第1回コミッティーではそのうち5台分が合意され、先行して調達業務が開始された。その後、市場調査及び配布先の確認を経て、第2回コミッティーにて残り95台分が合意された。

第2回コミッティー

納入先	品目	数量	金額	供与額に占める割合
MOH	救急車	95	¥627,000,000	
	ICUベッド	100	¥110,000,000	
	患者モニター(ベッドサイド)	100	¥385,000,000	
	患者モニター(セントラル)	8	¥61,600,000	
第1バッチ 機材費(第1回コミッティーでの選定品目)			¥370,865,040	18.54%
第2バッチ 機材費(第2回コミッティーでの選定品目)			¥1,183,600,000	59.18%
調達代理機関費			¥50,000,000	2.50%
残余額			¥395,534,960	19.78%
計			¥2,000,000,000	100.00%

第3回コミッティー

納入先	品目	数量	金額	供与額に占める割合
バンテアミエン チェイ州保健局 (PHD)	携帯型超音波スキャナー	10	¥40,500,000	
	患者モニター(ベッドサイド)	20	¥56,100,000	
	心電図	6	¥2,700,000	
	血液ガス分析装置	4	¥2,900,000	
	シリンジポンプ	10	¥8,700,000	
	救急車	2	¥10,000,000	
	診察用テント	4	¥24,000,000	
	高濃度酸素発生器	4	¥1,900,000	
	ICUベッド	10	¥2,500,000	
	担架	4	¥1,000,000	
	保育器	2	¥4,000,000	
	発電機(大)	1	¥200,000	
	UPS	1	¥4,000,000	
シェムリアップ PHD	患者モニター(ベッドサイド)	8	¥18,000,000	
	吸引器	8	¥1,000,000	
	高濃度酸素発生器	8	¥3,800,000	
	血液ガス分析装置	1	¥800,000	
	移動式X線撮影装置	2	¥40,700,000	
	X線防護前掛	2	¥100,000	
	ICUベッド	20	¥4,900,000	
MOH	ICUベッド	50	¥13,000,000	
	患者モニター(ベッドサイド)	50	¥141,000,000	
	患者モニター(セントラル)	4	¥18,000,000	
	人工呼吸器**	50	¥300,000,000	
第1バッチ 機材費(第1回コミッティーでの選定品目)			¥370,865,040	18.54%
第2バッチ 機材費(第2回コミッティーでの選定品目)			¥811,964,400	40.60%
第3バッチ 機材費(第3回コミッティーでの選定品目)			¥699,800,000	34.99%
調達代理機関費			¥50,000,000	2.50%
残余額			¥67,370,560	3.37%
計			¥2,000,000,000	100.00%

第4回コミッティー

納入先	品目	数量	金額	供与額に占める割合
バンテアイミエン チェイ州保健局 (PHD)	救急車 ***	2	¥11,000,000	
MOH	ソフトコンポーネント (サーモグラフィー、携帯型超音波スキャ ナー、移動式X線撮影装置、患者モニター (ベッドサイド、セントラル)の設置及び初 期操作トレーニング)及び 調達済み資機材に係る追加調達(アクセ サリーを含む)	N/A	¥26,802,360	
第1バッチ 機材費(第1回コミッティーでの選定品目)			¥370,865,040	18.54%
第2バッチ 機材費(第2回コミッティーでの選定品目)			¥811,964,400	40.60%
第3バッチ 機材費(第3回コミッティーでの選定品目)			¥727,368,200	36.37%
第4バッチ 機材費(第4回コミッティーでの選定品目)・ソフトコンポーネント費			¥37,802,360	1.89%
調達代理機関費			¥52,000,000	2.60%
残余額			¥0	0.00%
計			¥2,000,000,000	100.00%

(出所: 第1~4回コミッティー議事録を基に、評価チーム作成)

(2) 初期操作トレーニングの実施結果

表 2-2 初期操作トレーニングの実施結果

機材	納入先	当初契約における トレーニングの有無	追加契約による トレーニング実施	実施場所		
				MOH	各医療機関	
救急車(トヨタ)	MOH	○		○		
救急車(日産)		○		○		
サーモグラフィー			○		○	
携帯型超音波スキャナー			○		○*	
高濃度酸素発生器			○		○	
移動式X線撮影装置			○		○	
発電機(小)						
血圧計						
超音波画像診断装置			○			○
ICUベッド			○			○**
患者モニター(セントラル)			○	○		○
患者モニター(ベッドサイド)			○	○		○
人工呼吸器						
携帯型超音波スキャナー		バンテアイミエ ンチェイPHD	○			○
患者モニター(ベッドサイド)	○				○	
ICUベッド	○				○	
心電図	○				○	
シリンジポンプ						
保育器	○					○
高濃度酸素発生器	○					○
血液ガス分析装置	○					○
診察用テント	○					○
担架						
発電機(大)		○			○	
救急車		○			○	
患者モニター(ベッドサイド)	シェムリアップ PHD	○			○	
移動式X線撮影装置		○			○	
X線防護前掛						
ICUベッド		○				○
吸引器						
高濃度酸素発生器		○				○
血液ガス分析装置	○				○	

* アクセス制限により、チャックアンレ地区保健センターでは未実施。

** 当初契約の範囲内で、クメール・ソビエト友好病院及び国立結核・ハンセン病対策センター(CENAT)のみで実施。

(出所: 調達代理機関提供資料)

(3) 機材の配置先及び現在の使用・維持管理状況

現地調査におけるインタビュー調査及び視察、ならびにアンケート調査の結果から、調達された機材の現在の使用及び維持管理の状況を、以下のとおり確認した。

表 2-3 機材の配置先及び現在の使用・維持管理状況

機材	配置先	配置数	記置総数	現在の使用数	使用頻度	使用停止理由	保管方法	維持管理方法	維持管理体制
救急車	ブノンベンMHD	12	102	11	日常的	故障	N/A	N/A	N/A
	カンダールPHD	6		6	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
	バンテアイミエンチェイPHD	6		6	日常的	-	N/A	定期的	専門スタッフあり
	コンボンスプーPHD	4		4	日常的	-	適切	必要時のみ	スタッフなし
	コンボンチャムPHD	4		3	日常的	修理中	適切	定期的	専門スタッフあり
	シェムリアップPHD	4		4	N/A	N/A	-	N/A	N/A
	スヴァイリエンPHD	4		N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
	バットンバンPHD	4		4	日常的	-	適切	定期的	専門スタッフあり
	クメール・ソビエト友好病院	3		3	日常的	-	適切	定期的	専門スタッフあり
	プレア・アンドンオン病院	3		3	日常的	-	適切	定期的	スタッフあり
	国立小児病院	3		3	日常的	-	適切	定期的	専門スタッフあり
	国立母子保健センター(NMCH)	3		3	日常的	-	適切	定期的	専門スタッフあり
	カンポットPHD	3		N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
	ココンPHD	3		2	日常的	故障	適切	定期的	専門スタッフあり
	コンボンチュナンPHD	3		3	日常的	-	適切	定期的	専門スタッフあり
	コンポントムPHD	3		3	日常的	-	適切	定期的	専門スタッフあり
	タケオPHD	3		3	日常的	-	適切	定期的	専門スタッフあり
	トボンクムPHD	3		N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
	プレアシハヌークPHD	3		3	日常的	-	適切	必要時のみ	専門スタッフあり
	ブレイベンPHD	3		2	日常的	修理中	一時的な保管	定期的	専門スタッフあり
	ポーサットPHD	3		3	日常的	-	適切	定期的	スタッフあり
	ウドーミエンチェイPHD	2		2	日常的	-	適切	必要時のみ	専門スタッフあり
	クラチエPHD	2		2	日常的	-	適切	定期的	専門スタッフあり
ケップPHD	2	2	日常的	-	適切	定期的(一部)	専門スタッフあり		
ストゥントレンPHD	2	2	日常的	-	適切	定期的	専門スタッフあり		
パイリンPHD	2	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A		
プレアヴィヒアPHD	2	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A		
プレア・コサマック病院	2	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A		
モンドルキリPHD	2	2	日常的	-	適切	定期的	専門スタッフあり		
ラタナキリPHD	2	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A		
国立結核・ハンセン病対策セン	1	1	月に数回	-	適切	定期的	専門スタッフあり		
サーモグラフィ	MOH	3	10	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
	バットンバンPHD	2		0	-	保管	適切	-	専門スタッフあり
	バンテアイミエンチェイPHD	2		2	-	-	適切	必要時のみ	専門スタッフあり
	プレアシハヌークPHD	2		0	-	保管	適切	-	専門スタッフあり
	スヴァイリエンPHD	1		N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
携帯型超音波スキャナー	バンテアイミエンチェイPHD	12	35	12	日常的	-	適切	定期的	専門スタッフあり
	クメール・ソビエト友好病院	4		1	N/A	故障	適切	必要時のみ	N/A
	NMCHC	4		1	年に数回	保管	適切	定期的	専門スタッフあり
	CENAT	3		N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
	コンボンチャムPHD	2		1	週に数回	故障	適切	定期的	専門スタッフあり
	シェムリアップPHD	2		2	日常的	-	N/A	N/A	N/A
	スヴァイリエンPHD	2		N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
	チャックアンレ地区保健センター	2		N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
	バットンバンPHD	2		0	-	保管	適切	-	専門スタッフあり
プレアシハヌークPHD	2	2	月に数回	-	適切	必要時のみ	専門スタッフあり		
超音波スキャナー(カート搭載型)	クメール・ソビエト友好病院	1	1	1	週に数回	-	適切	必要時のみ	専門スタッフあり
高濃度酸素発生器	シェムリアップPHD	13	75	13	大型:日常的、 小型:低い	-	-	-	-
	クメール・ソビエト友好病院	10		10	低い	-	適切	定期的	専門スタッフあり
	チャックアンレ地区保健センター	10		N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
	プレアシハヌークPHD	10		0	-	保管	適切	-	専門スタッフあり
	CENAT	8		N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
	NMCHC	5		0	-	不要	適切	必要時のみ	専門スタッフあり
	スヴァイリエンPHD	5		N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
	バットンバンPHD	5		5	年に数回	-	適切	N/A	専門スタッフあり
バンテアイミエンチェイPHD	9	9	日常的	-	適切	必要時のみ	専門スタッフあり		

移動式X線撮影装置	シェムリアップPHD	3	12	3	日常的	-	適切	定期的	専門スタッフあり
	クメール・ソビエト友好病院	1		0	-	保管(未使用)	適切	-	-
	CENAT	1		N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
	NMCHC	1		0	-	修理中	適切	定期的	専門スタッフあり
	コンボンチャムPHD	1		0	-	故障	-	-	-
	スヴァイリエンPHD	1		N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
	チャックアンレ地区保健センター	1		N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
	パタンバンPHD	1		1	年に数回	-	適切	定期的	専門スタッフあり
	バンテアイミエンチェイPHD	1		1	日常的	-	適切	定期的	専門スタッフあり
ブレアシハヌークPHD	1	0	-	故障	-	-	専門スタッフあり		
発電機(小)	コンポントムPHD	3	100	3	低い	-	N/A	N/A	N/A
	その他 不明	97		-	-	-	-	-	-
血圧計	クメール・ソビエト友好病院	10	100	0	-	故障(6台)、 保管(4台)	適切	-	-
	CENAT	10		N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
	NMCHC	10		0	-	故障	-	-	-
	コンボンチャムPHD	10		0	-	故障	-	-	-
	シェムリアップPHD	10		1	N/A	故障	N/A	N/A	N/A
	スヴァイリエンPHD	10		N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
	チャックアンレ地区保健センター	10		N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
	パタンバンPHD	10		0	-	故障	-	-	専門スタッフあり
	バンテアイミエンチェイPHD	10		10	日常的	-	適切	必要時のみ	専門スタッフあり
ブレアシハヌークPHD	10	0	-	保管	適切	-	専門スタッフあり		
ICUベッド	シェムリアップPHD	30	130	20台使用、 10台不明	日常的	-	適切	N/A	N/A
	バンテアイミエンチェイPHD	30		30	日常的	-	適切	定期的	専門スタッフあり
	クメール・ソビエト友好病院	20		20	日常的	-	適切	定期的	専門スタッフあり
	CENAT	10		N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
	コンボンチャムPHD	10		10	日常的	-	適切	定期的	専門スタッフあり
	スヴァイリエンPHD	10		10	日常的	-	N/A	N/A	N/A
	チャックアンレ地区保健センター	10		N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
	ブレアシハヌークPHD	10		10	日常的	-	適切	必要時のみ	スタッフあり
ベッドサイドモニター	バンテアイミエンチェイPHD	30	178	30	日常的	-	適切	必要時のみ	専門スタッフあり
	クメール・ソビエト友好病院	20		10	日常的	保管(未使用)	適切	定期的	N/A
	ブレア・アンドゥオン病院	20		一部(詳細不明)	日常的	修理中	適切	定期的	専門スタッフあり
	シェムリアップPHD	18		10台使用、 8台不明	日常的	-	適切	N/A	N/A
	NMCHC	10		10	日常的	-	適切	定期的	専門スタッフあり
	ココンPHD	10		10	日常的	-	適切	なし	専門スタッフあり
	コンボンスプーPHD	10		10	日常的	-	適切	必要時のみ	スタッフなし
	コンボンチャムPHD	10		10	日常的	-	適切	定期的	専門スタッフあり
	スヴァイリエンPHD	10		N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
	トボンクムPHD	10		N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
	パタンバンPHD	10		10	日常的	-	適切	定期的	専門スタッフあり
	ブレア・コサマック病院	10		N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
	ブレアシハヌークPHD	10		10	日常的	-	適切	必要時のみ	スタッフあり
セントラルモニター	トボンクムPHD	1	12	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
	クメール・ソビエト友好病院	1		1	日常的	-	適切	定期的	専門スタッフあり
	ココンPHD	1		1	日常的	-	適切	なし	専門スタッフあり
	NMCHC	1		1	日常的	-	適切	定期的	専門スタッフあり
	コンボンスプーPHD	1		1	日常的	-	適切	必要時のみ	スタッフなし
	コンボンチャムPHD	1		0	-	修理中	-	-	-
	シェムリアップPHD	1		1	日常的	-	適切	N/A	N/A
	パタンバンPHD	1		1	日常的	-	適切	定期的	専門スタッフあり
	バンテアイミエンチェイPHD	1		1	日常的	-	適切	なし	専門スタッフあり
	ブレア・アンドゥオン病院	1		1	日常的	-	適切	定期的	スタッフあり
	ブレア・コサマック病院	1		N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
ブレアシハヌークPHD	1	1	日常的	-	適切	必要時のみ	専門スタッフあり		
人工呼吸器	ココンPHD	10	50	10	週に数回	-	適切	定期的	専門スタッフあり
	コンボンスプーPHD	10		10	月に数回	-	適切	必要時のみ	スタッフなし
	スヴァイリエンPHD	10		N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
	トボンクムPHD	10		N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
	ブレア・コサマック病院	10		N/A	N/A	N/A	N/A	N/A	N/A
心電図	バンテアイミエンチェイPHD	6	6	6	日常的	-	適切	必要時のみ	専門スタッフ
シリンジポンプ	バンテアイミエンチェイPHD	10	10	10	日常的	-	適切	必要時のみ	専門スタッフ
保育器	バンテアイミエンチェイPHD	2	2	2	日常的	-	適切	必要時のみ	専門スタッフ
吸引器	シェムリアップPHD	8	8	8	日常的	-	N/A	N/A	N/A
血液ガス分析装置	バンテアイミエンチェイPHD	4	5	0	-	試薬の入手困難	適切	必要時のみ	専門スタッフあり
	シェムリアップPHD	1		1	日常的	-	適切	N/A	N/A
担架	バンテアイミエンチェイPHD	4	4	4	日常的	-	適切	なし	専門スタッフあり
診察用テント	バンテアイミエンチェイPHD	4	4	4	日常的	-	適切	なし	専門スタッフあり
X線防護前掛	シェムリアップPHD	2	2	2	日常的	-	N/A	N/A	N/A
発電機(大)	バンテアイミエンチェイPHD	1	1	1	月に数回	-	適切	必要時のみ	専門スタッフあり

第3章 参考文献

1. 案件共通の参考文献

- ・ 外務省(2015年)、開発協力大綱－平和、繁栄、そして、一人ひとりのより良き未来のために－、<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/files/000072774.pdf>
- ・ 外務省(2023年)、開発協力大綱～自由で開かれた世界の持続可能な発展に向けた日本の貢献～、
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/files/100514690.pdf>
- ・ 外務省(2017年)、対カンボジア王国 国別開発協力方針
- ・ 外務省(2024年)、対カンボジア王国 国別開発協力方針、
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/files/000072231.pdf>
- ・ Royal Government of Cambodia (2018), Cambodian Sustainable Development Goals (CSDGs) Framework (2016-2030),
https://ncsd.moe.gov.kh/sites/default/files/2019-06/CSDG_Framework_2016-2030_English_LAST_FINAL.pdf
- ・ Royal Government of Cambodia (2018), Rectangular Strategy Phase IV,
http://cdc-crdb.gov.kh/en/strategy/documents/Rectangular_Strategy_Phase_IV_Eng.pdf
- ・ Royal Government of Cambodia (2023), Pentagonal Strategy – Phase I,
<https://ncsd.moe.gov.kh/sites/default/files/2023-08/2%20EN%20PENTAGONAL%20STRATEGY%20-%20PHASE%20I.pdf>

2. 「平成28年度コンポントム上水道拡張計画」に係る参考文献

(1) 外務省提供資料

- ・ 要請書
- ・ 財務実行協議資料
- ・ 交換公文(E/N)本文、交換公文(E/N)合意議事録(A/M)
- ・ 包括合意文書
- ・ 調達代理機関の四半期報告書
- ・ 調達代理機関の業務完了報告書

(2) 国内調査及び現地調査入手資料

- ・ SPCの技術資料(詳細設計書2巻)
- ・ コンサルタントの実施方針書

(3) 公開情報

- ・ Royal Government of Cambodia (2013), Rectangular Strategy Phase III

- https://pressocm.gov.kh/wp-content/uploads/2017/04/20130927_Rectangular_Strategy_III_English.pdf
- ・National Strategy for Rural Water Supply, Sanitation and Hygiene 2011-2025
https://data.opendevelopmentcambodia.net/laws_record/national-strategy-for-rural-water-supply-sanitation-and-hygiene-2011-2025
 - ・National Action Plan Rural Water Supply, Sanitation and Hygiene 2019-2023
https://data.opendevelopmentmekong.net/laws_record/national-action-plan-rural-water-supply-sanitation-and-hygiene-2019-2023/resource/82818ba2-cd43-4bb0-8e6f-d37bc92fd4ae
 - ・National Water Resources Policy for the Kingdom of Cambodia 2004
<https://aipalync.org/document/national-water-resources-policy-for-the-kingdom-of-cambodia-2>
 - ・DRINKING WATER QUALITY STANDARDS (2004)
<https://rdic.org/wp-content/uploads/2014/12/MIME-Drinking-Water-Quality-Standards-2004-en.pdf>
 - ・政府開発援助（ODA）国別データ集 2017
https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/press/shiryo/page1w_000024.html
 - ・外務省 政策評価法に基づく事前評価書
https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/press/shiryo/page22_000342.html
 - ・外務省 事業・運営権対応型無償資金協力
https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/about/kanmin/page23_000777.html
 - ・外務省 質の高いインフラ
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/bunya/infrastructure/index.html>

3. 「令和 2 年度経済社会開発計画」に係る参考文献

(1) 外務省提供資料

- ・ 要請書
- ・ 大使館コメント票
- ・ 財務実行協議資料
- ・ 交換公文（E/N）本文、交換公文（E/N）合意議事録（A/M）
- ・ 第 1～4 回政府間協議会（コミッティー）議事録
- ・ 調達代理機関の四半期報告書
- ・ 調達代理機関の業務完了報告書
- ・ 大使館フォローアップシート
- ・ 医療機材配置先一覧

(2) 国内調査及び現地調査入手資料

- ・ 初期操作トレーニング実施結果一覧
- ・ ICU ベッド検査証
- ・ List of Ambulance and Generators Distribution (Kampong Thom PHD)
- ・ List of Equipment and Ambulance Distribution (Kampong Cham PHD)

(3) 公開情報

- ・ 外務省(2013年)、国際保健外交戦略、
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/000005947.pdf>
- ・ 外務省(2020年)、外交青書 2020、
https://www.mofa.go.jp/mofaj/fp/pp/page22_1003299.html
- ・ 外務省(2020年)、カンボジア王国に対する医療・人材育成支援に係る無償資金協力3件に関する書簡の交換、
https://www.mofa.go.jp/mofaj/press/release/press4_008470.html
- ・ 外務省(2020年)、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に関するASEAN+3(日中韓)特別首脳テレビ会議、
https://www.mofa.go.jp/mofaj/page1_000856.html
- ・ 外務省(2020年)、政府開発援助(ODA)国別データ集 2020、
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/files/100271618.pdf>
- ・ 外務省(2020年)、令和2年度外務省政策評価書、
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/100097965.pdf>
- ・ 外務省(2021年)、外交青書 2021、
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/bluebook/2021/pdf/index.html>
- ・ 在カンボジア日本国大使館(2021年)、
<https://www.facebook.com/322445524550059/posts/3774096789384898/>
- ・ 首相官邸、日・ASEAN健康イニシアチブ、
<https://www.kantei.go.jp/jp/singi/kenkouiryuu/kokusaitenkai/dai3/siryuu2.pdf>
- ・ BTV Cambodia (2021),
<https://www.facebook.com/1426087464349805/posts/2779936285631576/?sfnsn=mo>
- ・ Department of Planning and Health Information (2016), The Third Health Strategic Plan 2016-2020 (HSP3),
https://extranet.who.int/countryplanningcycles/sites/default/files/planning_cycle_repository/cambodia/cambodia_nhpsp_2016-2020.pdf
- ・ Fresh News TV (2021),
<https://www.facebook.com/freshnewstvonline/videos/773917796648679/>
- ・ Ministry of Information (2021), Japan Donates 35 Ambulances to Cambodia,
<https://www.information.gov.kh/articles/42416>

- Ministry of Health (2020), Responding to COVID-19 in the Kingdom of Cambodia, https://apps.who.int/gb/covid-19/pdf_files/18_06/cambodia.pdf
- World Health Organization (2020), Preparing and Responding to the COVID-19 Pandemic in Cambodia, <https://iris.who.int/server/api/core/bitstreams/12365c32-c098-41bb-a070-9d70ba038c3c/content>

以上